

- 16：20 同無手無冠発
- 17：20 四万十町の農家民宿「こんぴら」「百々世庵」着
古民家百々世庵での五右衛門風呂体験（15日が男性、16日が女性）
- 18：30 夕食（地元産食材による食体験）
こんぴらのご家族との懇談

10月16日（木）

- 8：00 朝食（地元産食材による食体験）
- 9：00 地域の神社「金毘羅宮」見学、地域の散策
- 10：15 こんぴら発
- 11：00 道の駅とおわ見学、地元産物の見学と買い物、スタッフから案内を受ける
- 11：30 道の駅発
- 12：30 農家レストラン「しゃえんじり」着
昼食（地元産食材による食体験）、店の方からのレクチャーを受ける
- 13：30 しゃえんじり発
- 14：00 四万十楽舎着
ガイドによるカヌー体験プログラム、四万十川をカヌーで下る
- 16：00 四万十楽舎戻り、着替え
- 16：30 四万十楽舎発
- 17：00 こんぴら着
- 18：00 夕食（地元産食材による食体験）

10月17日（金）

- 7：00 朝食（地元産食材による食体験）
- 8：00 こんぴらご家族との記念撮影
- 8：10 こんぴら発
- 8：30 半家沈下橋から西土佐・カヌー館までのサイクリングプログラム、四万十川と川沿いの集落をめぐり、川に寄り添った暮らしを訪ねる
- 11：20 西土佐発
- 12：50 中土佐町大正市場着
魚市場を訪ね、かつお薫焼きやおろすところを見学
昼食（地元産食材による食体験）
- 14：00 参加者同士の懇談、アンケート記入（中土佐で1名解散）
- 15：00 中土佐町発
- 16：00 JR高知駅で解散（2名）
- 16：30 高知空港で解散（2名）

(4)参加者アンケートから

1) このツアーであなたにとって「この場所で特別なもの」になったことはありますか？

- ・「こんぴら」(宿)が素敵だった。いつかまた家族を連れて休暇を過ごしに来たい。カヌー体験はわくわくして面白かった。英語の話せるフレンドリーなガイド、ユウタとタカがついてくれた。五右衛門風呂もとても珍しい体験だった。
- ・私が旅で一番楽しみなのは人とつながることなので、ツアーのオーガナイザーやリーダーたちと彼らの希望、目標、体験などについて話す機会が持てて良かった。また、地元の方々やそのライフスタイルに触れられたのも素晴らしいと思った。
- ・田舎の伝統的な家と、地元の方が出してくださった和食、特に焼き栗。
- ・民宿こんぴらの食事はすごく印象に残った。カヌー体験も楽しんだ。
- ・①サツマイモの農作業：都市に住む外国人にとっては、初めての体験なので、自分の手で収穫できるのがすばらしいと思った。
- ・②カヌー体験：四万十川のきれいさを感じて、日本の自然景観に驚いた。感動した。
- ・③宿泊所「こんぴら」：「和食」のおいしさよさを味わって、日本人の熱心さと穏やかさを感じた。素晴らしいと思った。

2) 今回訪ねた場所をお友達にお勧めしたいですか？もしそうなら、どのように紹介しますか？

- ・(はい) このツアーには本当にお勧めで家族や友人とまた訪れたいところがある。Facebook やブログで紹介したい。
- ・日本や外国の友達や家族に絶対に勧める Facebook の写真や口コミに興味を持ってくれるだろう。
- ・四万十で撮った写真やビデオを友人たちに見せてどんなに素晴らしいところだったかを伝えたい。
- ・(はい) 四万十のことを友達に紹介したい。川と山があって、地元の農産品で味わって、農作業を体験して、昔の雰囲気の家泊まって、体も精神的にも十分リラックスできると思う。
- ・このツアーの間、写真をいっぱい撮り、インターネットにアップロードした。たくさんコメントもらった。「ここはどこですか？」「食べ物はおいしいですか？」とかいろいろな質問がきた。これらの質問について、写真を一枚一枚説明しながら「ツアー日記」を書いて、インターネットで友達に紹介したいと思う。

3) この地域をまわって、何かほかに体験したかったことはありますか？

- ・酒蔵見学は言葉での説明だけでなく、実際に工程を見せてくれたら良かった。
- ・台風のせいで川えび漁ができなかったのも残念だ。
- ・民宿、地元食材、神社、祭りなどをもっと体験してみたい。訪れた酒蔵のような、地元の産物と新しいアイデアを融合させて外部へアピールする製品(人々がシェアしたくなるような)を作っている企業をもっと訪ねたい。
- ・もしできるなら、久礼大正町市場の近くの海でダイビングがしたい。
- ・台風のため、川漁はできなかったもので、今度機会があれば、一度体験してみたい。栗拾いなども。
- ・チャンスがあればもう一度来て、川漁体験をやってみたいと思う。

4) このツアーで不自由だったことがあれば、それはなんでしたか？提供されれば良いと思われるサービスや、必要ないと思われる要素があれば教えてください。

- ・通訳さんがいてくださったのは素晴らしかった。
- ・トイレに手洗いせっけんがないところがあった。
- ・酒蔵見学は説明が多すぎだったので、工程をもっとたくさん見られれば良い。
- ・日本以外の国から来る人々は、たとえ集団であっても学校の生徒のように扱われることに慣れていない。その文化の違いを通訳が調整できるとより良くなると思った。
- ・全てが心地よく、配慮が行き届いていた。一点だけ、カヌー体験の前にシャワーが浴びられることを知らせておいてほしかった。
- ・必要品の準備はちゃんと確認をしてほしかった。使わなかったものもけっこうある。山道が多くて、乗り物酔い止めがあればよかった。
- ・宿泊場所はきれいで生活しやすかったが、夜のおしゃべりやお酒なども別々で残念だった。
- ・交通が不便だと思う。景色もいいし、食べ物もおいしい。いろんな体験もあるが、交通手段に困っているお客様がいっぱいいると思う。バスか電車などの交通手段をもっといかせばいいと信じている。
- ・民宿にはwi-fiがあればいいなと思う。

5) 旅をするとき、どのように情報を集めますか？出発前と旅行中の主な情報収集の手段を具体的に教えてください。

- ・はじめはインターネット検索。そのあとに知り合いにアドバイスを求める。
- ・SNS、口コミ、インターネット検索。
- ・普段はスマートフォンを使ってグーグルマップで今いる場所とこれから行くところをチェック。また、これから訪れる場所に関連した記述のあるブログを読むこともある。
- ・インターネットと旅行社で情報を取得する。特に宿泊、食事は気になる。
- ・インターネットで事前にいろいろ調べる。手に入れた資料、情報を分析、比較してから、ツアーの内容、スケジュール、価格などをいろいろと検討し、一番自分に合うツアーを選ぶ。自分が好きなツアーを選んだら、ツアーのはじめから終わりまで、ずっと楽しい雰囲気にはいると思うので、すばらしい旅行になると信じている。

6) このツアーの印象はいかがでしたか？地元の方々になにかメッセージはありますか？

- ・四万十は美しい地域で人々がとても歓迎してくれた。おかげでとても楽しい滞在になった。食べ物が素晴らしかった。
- ・このツアーに参加できて本当に幸運だった。
- ・全ての体験ーリーダーシップ、活動、農家泊、食べ物ーが完璧だった！人々の生活とおもてなしの質の高さに感銘を受けた。また家族、友人とともに訪れたい。
- ・この素晴らしい機会を与えてくださって本当にありがとうございます！
- ・期待をはるかに上回る素晴らしさだった。山や川のそばにいて、母なる大地の恵みを味わわせていただいて。こんぴらのおばちゃん、おじちゃんに「大変お世話になりました！またお会いしたい！」と伝えたい。
- ・今度のツアーで、四万十の皆さんの情熱を感じて、四万十川の恵みをいただいて、とてもうれしかった。また行きたい。

・楽しくて、素晴らしかった。必ず、友達に紹介しようと思う。

「日本の伝統的なものを感じたければ、おいしいお魚が食べたいければ、日本最後の清流をみたければ、四万十川に行こう。」

(5) 主な抽出事項

○四万十の自然の恵み、農産物、そして地域の皆さんの普通の暮らしに魅力を感じている
アンケートからも、何より地元の食べもの、それを提供してくれる農家や宿の人との交流に満足感が高いことがうかがえる。参加者からは、地域の方の普段の暮らし方に接することの魅力をあげる声があり、特別に設えたというものより、普段の暮らしを効果的に見せ、交流体験できる内容が好まれと感じられた。

○特に食体験は満足度が高く、それにつながる農作業、漁、市場などでの流通、加工の現場は人気が高い。今回のツアーで食にこだわりがあることに加え、四万十地域の食べ物がとても美味しく、食への満足度が高い。また単に料理されたものを食するのではなく、その素材の生産、収穫、加工とつながりを持って示せたことも好評化につながったと見られる。参加者は誰がどこで作ったものなのか、それを誰が調理したものか、またそれは地域の伝統的なものかなど関心が高く、ほかにはない価値を見い出していた。

○自転車やカヌーなど、ゆっくりと地域をまわる体験が評価された
今回のツアーでは、移動距離が長く基本はバス移動を取ったが、カヌーでの川下り、自転車でのツーリングと、比較的ゆっくりしたスピードで地域を体験してもらった。2日目の午前中の徒歩による地域の散策も含め、身体感覚による地域の体感効果的といえる。自動車移動だけでなく、徒歩、自転車、カヌーなどのゆっくりした移動に着目したい。

○ツアープログラムでは、文化の違いの理解、配慮が必要
アンケートから、「たとえ集団であっても学校の生徒のように扱われることに慣れていません」との指摘があった。文化の違いは様々なところで配慮される必要があるが、特に集団行動が多いツアーでは、その案内のしかた、解説や進行について留意すべきである。今回は食品のアレルギーのみ事前に確認をとったが、宗教上の配慮や野菜食か否かなど細かに対応すべきものがほかにもあった。

○プログラム以外の時間の過ごし方にも、配慮すべき点がある
食事の後の時間の活用や、プログラムの中の時間の過ごし方など、合間の時間の使い方にも工夫ができるとよい。めいっぱいプログラムを詰め込むことは、事前に避けるよう配慮した。フリーの時間の活かし方として、みなさんと集まる場やおしゃべりをする時間の用意、お風呂やくつろげる場と時間の作り方も重要な要素となる。

○事前の情報提供や当日の案内で、スケジュール、準備物、留意事項は適切に提示する必要がある
当然ながら、ツアーやプログラムについての事前情報は必要である。時間や内容、準備物など必要事項

は適切に伝わるよう徹底したい。参加者からは募集時や広報では情報過多でない方が良いとの指摘ももらっており、参加が決まったのちに詳細情報を伝えることが望ましい。

○旅行者の情報入手先はインターネットによるものが多く、フェイスブックなど SNS の力が大きい。個人の発信から拡散する傾向がある

今回のツアー中またツアー後も、参加者は自分のスマートフォンなどでさかんに画像や感想をフェイスブックやブログにアップしていた。旅行情報や現地の情報はインターネットを通じてまた口コミによって得ている実情もわかり、マスの広告以上に SNS など個人の情報発信による広報が重視される。また参加者から日本語のサイトでは正確に理解できないこともあり、少なくとも英語によるサイト整備が必要との意見をもらっている。現地での対応は、地域の方々が無理に英語を使わなくてもいいが、情報発信としては英語が求められる。

○次回以降訪れるためには、アクセスの不便さの解消、英語によるインターネットの情報の整備が必要
今回はチャーターバスでの移動としたが、次回訪れるにはどうしてもアクセスに不安があるとの意見があった。公共交通機関が少なく、またその情報すらなかなか英語で得られないため、行き方がわから意図の指摘がある。インフラにあたることでもあり、一気に解決できるのものではないが、期間限定としても最寄交通機関からのバス運行やその情報発信の徹底、レンタカーによる誘致や交通表示の多言語化など、交通アクセスについては検討すべき整備が多い。

(6) 活動写真



おふくろでの食体験



おふくろでの農体験



おふくろでの農体験



無手無冠の酒蔵見学



無手無冠の酒蔵見学



無手無冠の酒蔵見学



こんぴらのご主人と



こんぴらのリビングで



こんぴらの五右衛門風呂



こんぴらでの家族の皆さんと参加者



収穫したいもをいろいろで



しゃえんじり（農家レストラン）の畑



金毘羅神社へ



四万十川のプログラムへ向かう



カヌー体験



サイクリングで地域をまわる



サイクリングで地域をまわる



じゃえんじりでの食解説



久礼の市場見学



久礼でのカツオのたたきづくり見学



久礼の市場見学

(7) 現地受入先による所感

・ツアー自体の感想・評価

モニターが高知を全く知らない訳ではなかったのですが、もっと淡々とプログラムが進んでいくと予想していたが、想像以上の反応があった。もちろん外国人の人特有のジェスチャーの大きさもあるのだろうが、我々としてはそこが一番強く印象に残った。今回はモニターツアーということで少し予定を詰め込んだ感があるが、やはりもう少し余裕を持ったスケジュールの方がいいのではないかとも思った。

・今後に活かせるようなポイント

特に構えることなく、普段通りでいいということ。無理なおもてなしをするよりも自然体でいいのだと感じた。自転車やカヌーといったアクティビティには以前より手応えを感じていて、それを再確認できるいい機会となった。また、国内外を問わず、観光の一番の要は人間だということも再認識できた。

・外国人の受入にあたっての地域の動きや、今後むけての計画や構想など

すみずみツーリズムとしては、特に外国人観光客の増加をねらってという動きには今のところなっていない。今回の事業とは直接関係ないが、厚労省から指導のあった帳簿（旅券番号や前日、翌日の予定の把握など）の型（4カ国語対応）を作成し、希望する会員に分ける予定である。

- ・外国人は観光情報を主にスマートフォンで探す。そのため、スマートフォンに対応したウェブサイトで情報発信する必要がある（参加者からの意見）

- ・直前まで、ツアーの参加人数が集まらなかった。今後モニターツアーの際には、参加募集期間の延長や、募集方法を改良する必要がある。

4.3 山梨県南アルプス市

(1) 実施概要

日 時：平成 26 年 11 月 22（土）. 23 日（日）

場 所：山梨県南アルプス市 Cottage The Woodvillage lake Ina 他

参加費：無料

定 員：10 名

概 要：

(2) 参加者(9 名)

国籍	年齢	性別	職業
台湾	36	女	会社員
台湾	29	女	翻訳業
アメリカ合衆国	45	女	ライター
ペルー	69	女	無職
ペルー	49	女	会社員
ペルー	50	女	パート
フィリピン	38	女	外国語指導助手
フィリピン	34	女	システム管理者
フィリピン	26	女	学生


(3) ツアー概要

「水の恵み旅」モニターツアープログラム

○プログラムの概要

南アルプスのふもとに広がる御勅使川扇状地は、昔から幾多の水害に見舞われると共に、「月夜でも焼ける」と言われた大干ばつ地帯でした。しかし、先達たちの知恵と努力のお陰で、今では日本有数な果樹地帯として生まれ変わりました。今回は、武田信玄を始めとする先人たちが築き上げてきた水の歴史と文化を存分に学んでいただくと共に、美味しい果物と富士山や南アルプスの美しい景色を堪能され、更に豊穰の喜びを感謝する高尾穂見神社の夜祭にも参加していただき、ユネスコエコパークに登録された南アルプス山麓に広がる農業を基軸とした生活文化の豊かさを味わう『水の恵み旅』を提供いたします。

◇1日目 11月22日(土)

会場	内容	写真
甲府駅（北口） 11:00 集合・出発	<ul style="list-style-type: none"> ・車 2 台（8 人乗り ツアー参加者 12 名、通訳 2 名乗車） ・車中 「水の恵み旅」の概要説明 	
水宮神社 11:45 到着 12:30 出発	<ul style="list-style-type: none"> ○お参り（神社殿に入る前にツアー参加者全員で 2 礼 2 拍手 1 礼） ・神事（志村宮司 進行は桜本氏子総代長） ・献茶（篠原裏千家山梨支部幹事長） 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・拝服(お菓子等をいただく)。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・桃花橋(ループ橋)経由 ・あんぼ柿つるし風景 	<ul style="list-style-type: none"> ・ループ橋で市の風景、富士山を眺望 ・曲輪田の農家のあんぼ柿つるしを見学しながら進行。 	
ほたるみ館 13:00 到着	○昼食(天気が良ければ南側芝生広場にて)・素材は全て地元素材使用(地産地消)	
ほたるみ館 14:00 スタート 15:40 出発	○あんぼ柿づくり体験 皮むき(一人4個)紐吊るし→燻蒸までの行程を体験(現品はお土産) ・試食用のあんぼ柿は一人一個程度用意。	
ふるさと文化伝承館 16:45 到着 17:45 出発	○水の歴史・文化等学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドビレッジ伊奈ヶ湖 18:15 到着 (宿泊所) 19:00 出発	○チェックイン(しばらく休憩) ・ハッピー着用(夜祭用)	
穂見神社 19:30 合流 19:45 到着 20:30 祈祷 21:00 出発	○穂見神社夜祭提灯行列へ合流 ○穂見神社夜祭体験 ・神社概要説明・祈祷・餅まき・神楽等見学・夜店体験	
ウッドビレッジ伊奈ヶ湖(宿泊所) 21:30 到着	○交流会(手前のコテージにて) ・一日目の感想等を聞きながら自由な雰囲気で開催。(1時間くらいで終了)	

◇2日目 11月23日(日)

会場	内容	写真
・ウッドビレッジ伊奈ヶ湖 レストラン (ミッシェル) 7:30・展望台	○朝食(多種類フルーツ付き) ・食後、歩いて展望台に。眼下に広がる甲府盆地風景の眺望。	
ウッドビレッジ伊奈ヶ湖 9:00 出発(宿泊所)	○車2台(8人乗り ツアー参加者12名、通訳2名乗車)	
氷室神社 9:10 到着 9:40 出発	○お参り(神社殿に入る前にツアー参加者全員で2礼2拍手1礼) ・概要説明(秋山氏子総代から説明) ・1200年大杉参拝→復活の水ビン詰め *若いツアー参加者は階段も選択肢。	
・林道通過	・途中南アルプス・富士山のビューポイント通過。	
池の茶屋駐車場 10:15 到着	○池の茶屋駐車場から展望台を目指して徒歩で出発。	
展望台(トレッキングコース) 10:45 到着 11:15 出発	○展望台 ・八ヶ岳、鳳凰三山、甲斐駒ヶ岳、北岳眺望。 ・ティータイム(タルト、コーヒー等)	
池の茶屋駐車場 11:45 到着	○池の茶屋駐車場からほたるみ館へ。	
ほたるみ館 12:15 到着 13:00 出発	○昼食(ほうとう食べ体験) ・味噌、野菜入れ体験。 ・手打ち体験。	
治水・利水施設(四ヶまち堰頭首工等) 13:20 到着 14:55 出発	○利水施設・治水史跡見学 ・四ヶまち堰頭首工・石積出(1番堤) ・枡形堤防・将棋頭 ・調整池・スプリンクラー見学 ・伊藤(元有野区長)概要説明。 ・加藤(釜無川右岸連合所長)概要説明。	
矢崎家 15:00 到着 15:40 出発	○ティータイム(古民家の大部屋でお茶を飲みながら2日間のモニターツアーのアンケート等を実施)。	



甲府駅(南口) 16:15 到着 16:30 解散	○甲府駅 ・最後に信玄公銅像の前で記念撮影。 ・解散	
---------------------------------	----------------------------------	--

(4) 参加者アンケートから

自由意見)

- ・アンケート用紙は英語だけでなく日本語・スペイン語に対応してほしい。
- ・スケジュールが詰まりすぎてせっかく自然のあるツアーなのだからゆっくりしたツアーがよい。
- ・体力はない方だが、だからと言って神社の階段は時間をかけても登りたかった。
- ・水を汲んだその場でコーヒーを飲みたかった。
- ・あっちこっち行きすぎて自分がどこにいるのかわからなかった。
- ・トレッキングかフードツアーか明らかにフォーカスすべき。
- ・トイレの配慮が細かくあってよかった。
- ・プログラム表が見やすかった。
- ・このツアーはいくらだったら参加するか？

30,000 円 1名

29,000 円 1名

25,000 円 1名

20,000 円 5名

15,000 円 1名

1) このツアーであなたにとって「この場所での特別なもの」になったことはありますか？

- ・古い物に興味は薄くあるので、矢崎さんの200年の歴史もあるお部屋に来ることができて非常に嬉しかった。
- ・一番のお気に入り、初日の水宮神社、氷室神社。そして夜のまつり。特に氷室神社、すごく高い場所なので、ふだん自分がいけない場所ですごく新鮮。そして「復活の水」もしもうちょっと説明すればもっといい。ほうとうが大好きなので、ゆっくり食べたかった。
- ・氷室神社訪問がとても気に入った。この経験により、日本文化が豊かだとわかった。神社に樹齢1200年の木があったことも驚いた。復活の水という素晴らしいものがあることもとても気に入った。
- ・樹齢1200年の木がとても気に入った。
- ・鷹尾のお祭りも餅まきと神楽舞があつてとても日本的だった。
- ・なにもかもがとても特別だった。たった二日だったが日本の文化や生活についてたくさん学ぶことができた。このツアーに参加できて本当に幸せでした。
- ・水宮神社のお茶会
- ・氷室神社がお気に入りの場所だ。美しいロケーションであり、平和で喜びに満ちていた。秋山さんが素晴らしかった。木もすごかった。他に特別な場所と言えば、穂見神社の夜祭り。そしてほたるみ館。Aさんのことは決して忘れません、とても素敵でした。

- ・どのプログラムもとても大切だった。全てが興味深かった。
- ・初めての参加で、日本文化をより深く知ることができ、すべてがとても興味深かった。水の神様への敬意が印象的で、その存在を知らなかったので感心し、尊敬する。

2) 今回訪ねた場所をお友達におすすめしたいですか？もしそうなら、どのように紹介しますか？

- ・展望台でキレイな山を眺望しながら、寒い中あたたかいコーヒーを呑んで静かに自然と対話できるところが気に入った。
- ・2日間のツアー内容を振り返ってみると、すごく日本の心を表す内容だと思う。

アドバイスとして

- ・日本語学校と協力。外国籍の学生に来てもらうのが人気かも。そしてロコミひろがる
- ・せっかく200年住宅であれば、民宿やってみれば？
- ・夜は四季に合わせてイベントを行なう
- ・移動時間は、南アルプスの面白い歴史を語る。など。
- ・必ずすすめる。南アルプス市の豊かな文化と歴史について友人に伝えたいと思う。
- ・日本人の信仰と努力に、本物の、伝統的な日本の姿が見られることを伝えたい。
- ・はい、必ずすすめる!!! 山梨のなかではそこまで大きな市ではないけれど、提供できるものがたくさんある。ハイキング、お寺、お祭り、食べ物、歴史や文化など。
- ・そんなに混雑していないのでこの山梨の町は他のところとは違う雰囲気を感じられる。
- ・必ずすすめる。私が撮った写真を見せ、心に刻まれた思い出を語って。
- ・南アルプス市は驚くほど美しい景色、素晴らしい食べ物、あたたかな人々がいる山あいの村で、普段出会えないような日本の方々と共に貴重な体験が出来ることを伝えたい。
- ・このツアーに参加すると、古い時代の、また現代の日本人をよく理解する機会に恵まれる。そして友達を作ることもできる。

農家の方々が野菜や果物を生産し、それを(自分たちで?)食べているのが面白かった。

3) この地域をまわって、なにか他に体験したかったことはありますか？

- ・葡萄狩り、星観望
- ・①果物体験 (BBQ→夏) ②キャンプ③空④楓葉
- ・このツアーは申し分のない体験で、これ以上望むものはない。
- ・例えば、次のところへ移動する最中に説明やお楽しみがある等。
- ・ハイキングできるところや、公園、村の近く見たできれいな湖へ行きたかった。
- ・この旅で食べた全てのフルーツの栽培の農業体験を直にしてみたい。
- ・地元の温泉や酒蔵
- ・他にできるアウトドアの活動はあるか？地元の他の工芸品や伝統はあるか？
- ・自転車ツアー
- ・キャンプ
- ・今回の場所へのバスのアクセスはありますか？外国人は車のない人が多い。

- ・農家泊は可能？
- ・同じような宿泊場所で、2名（？）向けのところがありますか？

4) このツアーで不自由だったことがもしあれば、それはなんでしたか？提供されれば良いと思われるサービスや、必要ないと思われる要素があれば教えてください。

- ・できれば、水を提供してほしい。
- ・①時間的には急ぎの感じ→もうちょっとゆっくりで②水を用意するか、水を買う時間を設ける。
- ③ 祭りの前に休憩時間のとき、さきに弁当くばるも④祭りについての説明
- ・このツアーで体験できた全てがとても良かった。不都合なことはなかった。皆さん素敵でとても親切にしてくれた。
- ・鷹尾のお祭りや餅まき、神楽舞についてもっと説明をしてほしかった。
なぜやるの？なんのために？いつからやっているの？等
- ・江戸時代や明治時代とはいつだかわからない。何年前と言ってくれたほうがわかりやすかった。
- ・山の自然を楽しむ時間がもう少しあればよかった。
- ・予定や訪問先がたくさんあり、それは本当にありがたかったが、大きな木のある神社でもっとゆっくりできればよかった。
- ・なにもありません。
- ・全てが素晴らしく、足りないものはなかった。たまに物事の意味を知りたいと思うことがあった。すなわち、なぜキツネが餅をまくのか？女性の舞は何を意味するのか？ほうとうはなぜほうとうと呼ばれているのか。どのような意味なのか。
これは最上級の質のツアーだと思う。

5) 旅をするとき、どのように情報を集めますか？

出発前と旅行中の主な情報収集の手段を具体的に教えてください。

- ・ブログ、トリップアドバイザー
- ・ブログ（60%）、公式サイト（10%）、ガイドブック（30%）
- ・行く場所のウェブサイトをチェックし、インターネットでブログや情報を見る。交通手段、宿泊、費用を調べ、自分にちょうどよいかチェックする。ブログやウェブサイトで高く評価されていたら、行くのをためらわない。
- ・南アルプス市国際交流協会
- ・インターネット
- ・1、インターネット、2、その地域やその国に住んでいる人たちから情報をもらう。
- ・インターネット、友達の口コミ、iphone アプリ（ラーメンマップ、グーグルマップ）たまにツイッター
- ・日本にいる娘から。南アルプス市国際交流協会を通して。

6) このツアーの印象はいかがでしたか？地元の方々になにかメッセージはありますか？

・初めて神社でお払いを受けたこと、なかなか神社の室内に入れないので感動した。

・穂見神社夜祭

→今までいろんな祭りに行ったことがあるが、大体食べに行って、楽しんでいるだけだった。今回の様に、参加者として体験するのが初めてだったので、とてもうれしかった。

・このツアーは実に心に残る、素晴らしい体験だった。地元の方々は彼らの豊かな文化を紹介してくださった。外国人が日本に来るなら、この種のツアーに行くことを考えたらよいと思う。本当に楽しかった。地元の方々へ：ありがとうございました。皆さん素敵です。

・様々な習わし、伝統、食事、大切な場所の建造物などにたくさん触れることができ、とてもよいツアーだった。

・宿泊施設がとても良かった。時間が少なかったことをのぞけば、すべてがとてもよく企画されたツアーであった。皆さんとても優しくかった。スタッフの皆様、ありがとうございました。

・素晴らしい体験だった。このツアーを企画してくださった方々のご尽力とホスピタリティに心より感謝します。

・このようなツアーに参加するのは初めてでしたが、本当に素晴らしかった。いままでしてきた旅と同じぐらいの便利さ、快適さであった。ありがとうございました！

・素晴らしいツアーだった。ぜひまた訪れて、ほたるみ館で体験したり、ハイキングや農家を手伝ったりしたい。たくさんの事を学べ、とても感謝している。ここはとても特別な場所だ。

・全てのプログラムが素晴らしかった。この素敵なツアーに参加できたことをとても感謝し、嬉しく思っている。どうもありがとうございました、皆さん。

(5) 当日の様子



水宮神社に参拝



儀式とお茶を頂く



あんぽ柿



あんぽ柿づくりを体験



治水の歴史を学んだあと市長と記念撮影



夜祭



地元のお酒で交流会



お土産のおまもり



朝食には11種類のグレープ



宿泊したロッジ



長い参道を登り湧水をくむ



トレッキングの後は柿タルト



展望台で記念撮影



治水の現場をめぐる



ほうとうづくり体験



最後は古民家でまとめ

(6) 現地開催者より所感

1) 企画・運営

市では、下記をコンセプトにモニターツアーを企画した。

- ・グリーンツーリズムのキーコンテンツとして果樹や果実を打ち出す。
- ・穂見神社や高尾集落など歴史の深い山村文化を景観・暮らし・食体験から捉える。
- ・日本を代表する山岳地域である歴史の深い南アルプスの山麓であることを打ち出し、美しい山岳景観、水の恩恵、自然環境の豊かさを十分に活かす。
- ・その他、エコツーリズムコーディネーター研修時に受講者が出したコンセプトやコンテンツを活かす。

上記を元に、福井氏へ企画を指導いただいて、2日間のモニターツアーを組み立てた。11月上旬には、受入メンバーと共に、提灯行列コースを試験的に歩き、旅行者の歩けるコースかを確認した。

2) 受入後の反省

受入後、福井氏の指導のもと、メンバーで反省会を行った。参加者からの直接の意見もあったが、多くのメンバーがスケジュールについて、「プログラムを詰め込みすぎた」ことを挙げていた。アンケートからもプログラム内容自体には満足していただけたことはとても喜ばしい。各担当の企画・準備がなかったことがよかった。

今後は欧米の時間の使い方などのニーズにも対応し、プログラムを絞り込んで日程を組むことが大切であると確認した。

4.4 千葉県神崎町

(1) 実施概要

日程：平成 27 年 1 月 15 日（木） 天候：雨

主催：NPO 法人日本エコツーリズムセンター

旅行主催：有限会社リボン

現地対応：寺田本家、フジハン醤油、こうざき自然塾、月のとうふ店

(2) 参加者及び同行者、受入れ者

参加者：(11 名)

国籍	年齢	性別	職業
カナダ	33	女	企業内トレーナー、フードツアーライター
アメリカ合衆国	30	女	研究者
アメリカ合衆国	41	女	主婦
韓国	48	女	翻訳・通訳
韓国	45	女	外国語講師
中国	32	女	会社員
中国	45	女	会社員
中国	60	女	技師
中国	35	男	自営業
中国	33	女	主婦
中国	40	女	大学非常勤講師

添乗：壺岐健一郎、壺岐（リボン）

通訳：

現地受入：寺田優氏（寺田本家）、鈴木一司（こうざき自然塾）、

進行：森高一（日本エコツーリズムセンター）

(3) プログラム及び概要

8:00 新宿駅西口（工学院前）集合

8:15 出発（高速道で神崎へ）

車内で自己紹介、寺田本家と神崎を特集したテレビ番組のビデオを見る

10:15 寺田本家到着

○お蔵でガイドダンス。神崎の歴史と寺田本家について、当主の寺田優さんにかがう

○酒蔵見学。蒸したお米を蔵人が仕込む様子を見学し、発酵中のタンク、元摺りの工程、麴室などを見学。酒造りの流れを見せていただく。寺田本家では蔵に自然にある菌をうまく生かしながら、自然の力で酒を仕込む酒造りを行っており、元摺りも木おけで手作業で行われる。当日は元摺り作業の日ではなかったが、職人による元摺り歌の披露をもらった。

12:10 ○お蔵にて、地元食材を使った食事とお酒の試飲。地元の大豆を使った豆腐、みそ、しょうゆ（午後の見学先）のほか地のもの旬のものを味わう。

13:10 ○神崎神社と神崎町内のガイドツアー

寺田本家の仕込水の源となっている神崎神社へ移動し、神社の由来やご神木のなんじゃもんじ